



学校だより

上小岩



令和6年 4月8日

NO.1

江戸川区立上小岩小学校

校長 宮本 知司

行きたい学校・帰りたい家・住みたい町



校長 宮本 知司

お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。昨年度3月22日には、75名の卒業生が、本校への惜別の気持ちと未来へ向かう大きな希望とを胸に、堂々と巣立っていきました。在校生代表として式に臨席した新6年生の姿も大変に素晴らしく、本校の校風、そしてかみっ子のDNAは大切に引き継がれていくことを確信しました。

本日新たに60名の新1年生が加わり、全校児童402名での「新たな船出」をスタートします。いよいよ夏からは新校舎の建築も始まり、学校改築の大工事も後半戦となる今年度です。どうか昨年度までと変わらぬ、温かく力強いご支援を今年も本校へ賜りますようお願いいたします。

今年度は、江戸川区教育委員会の「教育課題実践推進校」の指定をいただき、2月にはその研究成果を区内外の先生たちに示す授業公開と説明会を行います。テーマは『魅力ある学校作り』ということで、本校のこれまでの佳き校風作りの取組みがそこに合致することでお声掛けをいただいたものと考えます。



研究のスタートにあたり、「魅力ある学校とはいったい何だろう？」と考えたところ、浮かんできたのがこの言葉「行きたい学校・帰りたい家・住みたい町」です。朝起きたら「さあ、今日も元気に学校に行こう！」と思い、一日の生活が終わると「うちに帰ったら何をしようかな」と楽しみに思う。そして「この町に、これからもずっと住んでいたいな」と願う。この三者が揃うことこそが『魅力ある学校』であろうと考えます。つまり、学校だけで「いい学校を作ろう」と努めても、それは薄っぺ

らな「いい学校像」であり、子供たちが入れ替わり、職員が替わっていけば続いていくものではありません。区内に誇る地域力と家庭力をもつ本校らしく、それぞれのよきを生かしながら、全校の子供たち一人一人が「行きたい学校・帰りたい家・住みたい町」の気持ちをもてるように、その方策を考え、研究し、実践していきたいと思えます。

今年度は、水曜日の午前授業や秋の文化的行事『かみっ子 芸術祭』が新たな取組みとして始まります。時代に合った改変の中でも「子供たちにとって大切なことを確実にやる」という軸は、今年度も大切にしています。

年度初め、まずは安全な登下校です。保護者・町の皆様でのお見守りもどうぞよろしくお願いいたします。

◀ 4月の全校道徳 ▶

『礼儀』 気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心がけ人に明るく接する。

